

■ マルチバッチ処理を行うと測定が一部開始しない場合がある

FAQ No. : FAQ2001-013	DOC Rev. : 0	公開日 : 2018/04/10
対象 Version	すべてのバージョン	
対象 MCA	MCA 全般	
キーワード	プリセット、マルチバッチ	

【ご注意】

- ・この文書は、お客様の所有される環境で発生する可能性のある事象に対する一般的な対応策を記述しております。
- ・特定の環境では対応策が適当ではない場合も予想されます。
- ・対応策に関して弊社が保証あるいはサポートを付加するものではありません。

症状	
マルチバッチ処理を行うと測定が一部開始しない場合がある。	
原因	対策
制御対象 MCA との通信に要する時間より短いプリセット時間にすると、一部の検出器に対して処理が正常に行われず測定が開始しない場合があります。 これはソフトウェア又はハードウェア固有の制限ではなく、それらを組み合わせたシステムとしての性能に限界があることによるものです。 なお、MCA との通信に要する時間は MCA の機種、通信方法及び通信経路の状況に依存し一定ではありません。	マルチバッチ処理で全制御を対象として測定するには、プリセット時間を MCA の応答と比較して十分長い時間(環境により異なりますが数十秒以上)に設定する必要があります。 測定が開始しない場合はさらにプリセット時間を長く設定することで改善が期待できます。 スペクトルナビゲータ等の MCA エミュレーションソフトウェアと対応する MCA は放射能測定を念頭に数百秒から数十万秒の測定を念頭に組み合わせて用いられることを想定しています。 多チャンネルの MCA を用いた短時間の繰り返し測定には専用のハードウェアとソフトウェアが必要です。